

代表質問通告書（平成27年12月定例会市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	匹田 郁 (鴻治会)	1. 中野市長のマニフェストについて	中野市政も2期 4年目を迎えようとしているが、マニフェストに対しての検証をお伺いします。 (1) この3年間で実行出来たこと まだ道半ばと感じている事があるのか (2) マニフェストにおける5つの目標、1つ1つの事業検証はどう考えるか。 (3) 更に新年度に是非実施したいと考える事業が有るのか 以上3点お尋ねします。		
		2. 教育問題について	新年度に第2期小・中学校の適正規模、配置計画の協議が実施されることについて、お伺いします。 (1) 統廃合問題の基本的な考え方について (2) 地域との協議事項の手順について (3) 複式学級の解消を考えているのか。 (4) 学力向上に向けての新たな取り組みについて (5) 小中学生のクラブ、部活動の現状と今後の取り組みについて 以上5点お尋ね致します。		
2	足立 善己 (創政会)	1. 活力ある街について	(1) 白杵市の人口の推移について 平成7年、平成12年、平成17年、平成22年、平成27年、の各1月1日の人口 (2) 産業就業者数の状況について 平成7年、平成17年、平成27年…の状況 ① 1次産業 ② 2次産業 ③ 3次産業 (3) 商店・料理飲食店の店舗数状況について 平成7年、平成17年、平成27年…の状況 (4) 人口減少対策の課題の大きな一つが「仕事・働く場」の創出・充実が必要と考えますが、そのための白杵市の産業振興策についてお尋ねします！ (5) 白杵市の定住促進、移住促進対策の取組みについて		
3	大戸 祐介 (白政会)	1. 小・中学校の校区見直しについて	(1) 今年度小学6年生の中学校通学区域を弾力化しましたが、条件とそのようにした理由を教えてください。また、12月18日までの申請になっていますが、短すぎではないでしょうか。 (2) 特定の中学校に偏りが生じたり、行きたくても行けない通学距離の不平等、時間や金銭的問題等が考えられますが、対応はどのように考えていますか。 (3) 人口分布・通学距離を考慮した新設校を創るなりして、学校区をバランスよく見直した方がよいのではないですか。		
		2. 教育制度の改正について	(1) 市長が招集のもと、総合教育会議が開催されていると思いますが、その回数と内容についてお聞かせ下さい。 (2) 新教育長制度は、市政に十分反映されているのでしょうか。 (3) 市内の学校で、問題行動をおこす生徒がいるように聞きますが、そのような場合は、教育委員会や総合教育会議で、対応を協議しているのでしょうか。		
4	奥田 富美子 (市民クラブ)	1. 伊方原発について	(1) 伊方原子力発電所で事故が起こった場合白杵市も放射能拡散の直接被害も考えられます。白杵市としてその対応をどのように考えていますか。また、先般のNHKの調査にはどのように回答されましたか。 (2) ヨウ素剤の準備はどうしますか。 (3) 事故が起こった際、伊方町民は大分県への避難が計画でうたわれています。白杵市での避難者の受け入れ計画はどうなっていますか。 (4) 対岸の大分県として少なくとも安全な避難計画ができるまでは再稼働は認めないという姿勢であるべきと思いますが、市はどう考えますか。		
		2. 困りを抱えた子どもたちの支援体制について	(1) 支援員の適正な配置について、現状と課題をどのように捉えていますか。 (2) スクールカウンセラーに加えて子どもの環境にも対応するスクールソーシャルワーカーの必要性についてどのように考えていますか。		
		3. 観光行政について	(1) デスティネーションキャンペーンの結果について、どのように捉えていますか。 (2) 外国人観光客の受け入れ体制の充実の必要性について、市はどのように考えていますか。		